

平成21年度

品川区立第二延山小学校

校長 宮下 和子



二延 学校だより 4月号

<http://www1.cts.ne.jp/enzan2>

平成21年度の協働 - 学校・家庭・地域・行政

校長 宮下 和子

立会道路の桜が満開となり、春休みの終わりを待ちかねたように登校した子ども達は、揃って進級し、始業式を迎えました。引き続き行われた入学式では、2年生と6年生が在校生を代表して出席し、106名の新入生を祝いました。

平成21年度の第二延山は、児童数620名・18学級で元気にスタートしました。

3月は支度の月であり、4月は出発の月です。

子ども教職員は、3月末、卒業生の体の大きさや落ち着いた表情に6年間の心身の成長が見て取れ、「よくどこまで大きくなった」と感動を覚えます。と同時に、共に支えていただいた家庭・地域・行政に深い感謝の念をいただきます。年度末の慌しさの中で、じっくりと卒業式の余韻に浸る間もなく4月、新1年生を迎えると、幼くあどけない姿に、抱えきれないほどの可能性の芽を見るようで心が湧き立ちます。

支度と出発は、別れと出会いを意味しています。

新しい教室では、新しい先生、新しい友達と、「大きくなろう」「かしこくなろう」「友だちをいっぱいつくろう」と、たくさんの夢であふれています。夢をかなえるのは子ども自身です。第二延山は、学年団協働システムによる教師の強力なサポートチーム「私が教える、から私たちが教える」で、子どもたちをきめ細かくサポートし、励まし指導します。

今年度も、子ども達の教育の当事者として、学校・家庭・地域・行政がそれぞれの役割をしっかりと果たしながら共に協働していきたいと考えています。

学校は・・・教育目標「自学共生」の具現化を目指し、「確かな学力」「共に生きる力」を育て担保するために、本校独自の教育課程を編成し実施します。今年度から3年間「生きてはたらくことばの力を育てる学校」として、全教科学習のベースである国語科の研究を行います。全校縦割り班活動や市民科学学習を中心に、自分中心でなく友だちと協力する喜びを味わわせるとともに、「時を守り・礼を正す・場を清める」を合言葉に、集団生活に必要な躰教育に重点をおき、品格のある社会性を育てます。

家庭は・・・早寝・早起き・朝ごはん健康な体をつくりまします。二延帽とまもるっちを確かめて元気に登校させます。宿題や自主学習を進んでやる態度を身につけさせ、自学の習慣をつけます。あいさつは社会生活の基本。家族みんなで気持ちの良いあいさつを交わし、子どもの声に耳を傾け、家族の会話がはずみます。

地域は・・・83運動で、子どもの安全を見守ります。良いことをしたらたくさん褒めます。ルールを守らない子はきちんと叱り、ルールを守らせませす。見かけたら一声かけて励まします。

行政は・・・10年目に入ったプラン21、4年目に入った小中一貫教育、今年度から始まる幼保小の連携（就学全教育と義務教育の接続）が、学校の教育活動において効果的に実施され、子ども達のすこやかな成長を担保することできるように、情報提供や予算面、システム面で支援します。

今週の4月10日（金）全校保護者会で、学校経営方針の説明と学年団を紹介します。



宮下 和子 校長
田邊 泰典 副校長



第81回 卒業証書授与式



6年生を送る会

